

厄鬼がまちを駆け抜ける

老松神社の伝統行事(追儼祭)

老松神社で1月7日、伝統の厄払い行事「追儼祭(鬼すべ)」が行われました。

これは、厄鬼を追い払い、無病息災を祈るもので、中国の陰陽道の行事を取り入れたといわれています。朱色の鬼の面を着けた厄年の男性を先頭に、赤鬼が町内を走ります。

厄を集め、老松神社に戻った鬼は「鬼すべ堂」に封じ込められ、松の葉の煙で燻され、厄払いが行われました。



老松神社で子どもの厄を払う赤鬼

今年は俺が福をもらう

志摩の桜井神社で「もち押し」

志摩の桜井神社境内で1月10日、新春恒例の「もち押し」が行われました。

今年も厄年を迎える氏子から直径30cmの大餅が奉納され、その餅を厄に見立てて地元の若者たちが奪い合います。餅が割れるまで続けられ、餅を持ち帰った人には福が来るといわれています。

極寒の中、若者たちの体からは湯気が上がり、見事餅が割れると、会場からは歓声と拍手が巻き起こっていました。



本殿から投げられた餅に飛びかかる地元の青年たち

機械にはない、まろやかな味わいを

白糸酒造ハネ木搾り始まる

1月11日から白糸酒造で伝統の技法「ハネ木搾り」による酒造りが始まりました。

1855年の創業当時から始まったこの技法は、長さ約8mのカシの木に石をつり下げ、てこの原理でもろみから酒を搾り取る、全国でも有数の技法。機械で搾るよりも雑味が少なく、まろやかな味わいになるとのこと。

1工程は2日間かけて行われ、3月中旬まで作業が続けられます。



計1.2トンの石を吊(つ)り下げ、2日間かけてゆっくり搾られる

子どもたちの人権作文



怡土小学校6年生

平井 しほこさん

修学旅行で学んだこと

私は修学旅行で長崎に行き、いろいろなことを学びました。その中で一番心に残っているのは、被爆者の方の話です。

原爆で亡くなった家族の人達の話を知っていると、とても悲しくて涙が出てきそうでした。また、自分もそうだったらと考えるととても悲しい経験が話してくださったので、私達は本当に感謝しなければいけないと思いました。

私は、なぜ戦争をしなければいけなかったのか、なぜ何もしていない人の命をうばわなければいけなかったのか、とてもよく思います。私は、みんなが人のことを考えながら行動することが大切だと思います。

また私自身は、友達の気持ちを考えて、けんかやいじめなどをなくしていきたいと思っています。



波多江小学校5年生

坂本 優さん

私を支えてくれているまわりの人たち

私の周りにはたくさんの方がいます。私は、そのまわりにいる友達や家族などの人たちに支えられて生きていけるんだと思います。

私の周りには、学校に行く友達、学校で遊ぶ友達、学校から帰る友達やたくさんいるような友達がいます。

学校に行く友達は、毎朝、私をむかえにきてくれます。「おはよう」のかわりにいろんな話を学校につくまでします。それだけでも、遊んでいるようにすごく楽しいです。

学校で遊ぶ友達は、おもしろい話をしたり、曲を聞いたりいろんなことをします。いっしょにおどったりして毎日が楽しくなります。

学校から帰る友達は、遊びながら帰ったり、なにかを相談したりしています。私は、相談したときに、はげましてくれたり、心配してくれるのでとてもうれしいです。

人権を考える

こころコラム

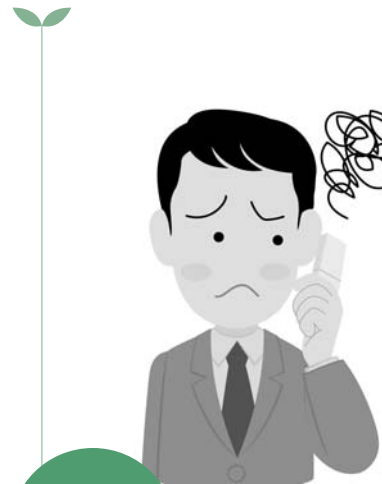
“スマホ”の買い替えトラブルに注意

1か月前に携帯電話からスマートフォンに買い替えたEさん。いろいろな機能が使えると楽しみにしていましたが、「突然電源が落ちる」「メールが届かない」「いきなり画面が固まる」などの不具合が生じ、販売店に相談して基盤交換をしてもらいました。しかし、その後も同様の不具合が続き、困っています…。

最近、スマートフォンに買い替える人が増えていますが、電池が一日も持たない、アプリケーションの自動更新のために高額な料金を請求されたなどのトラブルが発生しています。

スマートフォンは携帯電話ではなく、通話ができるパソコンのようなものです。

コマーシャルのイメージだけで判断せずに、機種の特徴を踏まえて、自分の利用目的に合ったスマートフォンを選ぶようにしましょう。



まずはご相談を

問い合わせ

糸島市消費生活センター ☎(332)2098 相談日時 月～金曜日(土・日・祝日を除く)9時～17時

生活の豆知識